

# 長良川鵜飼観覧船の船着き場とその周辺のデザイン

高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻

1240051 亀山 優友

指導教員 重山 陽一郎

## 1. 背景

### 1) 川原町通りの歴史

川原町通りは江戸時代より奥美濃からの木材や美濃和紙を扱う問屋町として栄えてきた歴史があり、特産品には岐阜提灯、和傘などがある。街並みに関しても多くの建物が二階建ての町屋となっており昔は整った街並みだったが、近年は景観に調和していない建物も存在する。



図1：現在の河原町通り

### 2) 長良川鵜飼の衰退

長良川の鵜飼は国の重要無形民俗文化財に指定されており、鵜飼を間近で見ることが出来る観覧船は岐阜市の代表的な観光スポットである。観覧船の乗客数はピーク時の1973年には約33万人だったが近年では10万人台に低迷しており、コロナ後はその半数程度にとどまっている。

### 3) 川原町通りと船着き場の関係

川原町通りと長良川鵜飼の船着き場は近い距離に位置するが、高低差4mの急斜面により分断されており関係が希薄である。

## 2. 目的

長良川鵜飼と川原町の関係性を強め、鵜飼を楽しめる空間と川原町の資源と環境を活かした場を設け

ることで観光業の活性化を図る。また観光客だけでなく近隣の住民も憩いの場として利用できる空間とすることでオフシーズンも活気のあるまちづくりを行う。

## 3. 対象敷地

### 1) 敷地の立地

岐阜県岐阜市玉井町は東側に金華山、北側に長良川に挟まれた地域に位置している。本敷地に赴く際はバス又は自家用車を利用するのが一般的であり、主要駅の岐阜駅からは約3.5km離れている。



図2：対象敷地とその周辺  
(国土地理院地図に著者加筆)

### 2) 敷地範囲の決定

現在の船着き場と待合所の間は高低差4mの傾斜面となっており、待合所から船着き場の様子が分かりづらくなっている。本計画ではこの課題を解消する。

老舗旅館は川原町通りが3階建て、長良川側が7階建てと高層で非常に圧迫感がある。また外観も河原町通りの景観に調和していない。敷地範囲を船着き場から旅館敷地まで拡大し、景観に合わせた旅館を建てる。



図3：対象敷地図と断面図  
(国土地理院地図に著者加筆)



図4：全体配置図

#### 4. 設計方針

##### 1) 船着き場と川原町通りをつなぐ空間

高低差によって離れている船着き場と河原町通りを緩傾斜の階段広場をつなぎ、鶴飼観覧船を待つ人や外から見る人、近隣住民が利用できる空間とする。具体的には現在の船着き場を掘りこみ、その周囲を囲うように受付所や料理店、体験施設を置くことで岐阜市の新たな歴史の拠点とする。

##### 2) 川原町通りの景観に配慮した設計

河原町通りの建物は景観に配慮した高さや外観にする。

##### 3) 川原町の資源を活かした施設

岐阜和傘や岐阜提灯は岐阜県の代表的な伝統工芸品である。これらの手作り体験施設を建てることで伝統への関心を高める。

##### 4) 鶴飼を外から楽しめる空間

現在の船着き場周辺は旅館以外で鶴飼を外から眺められる場が設けられていない。広場側からも鶴飼を眺められる空間を作ること観覧船だけでなく広場も賑わうようにする。

## 5. 設計

### 1) 階段広場

現在の待合所からは高低差により船着き場の様子がわかりづらい。そこで緩勾配の階段広場を設けることでどの高さからも船着き場の様子が見られるようする。また階段広場自体が待ち合い空間となるようにする。



図5：広場のパース

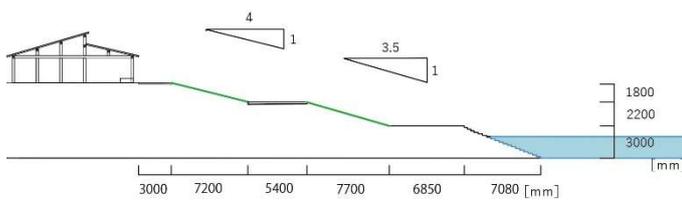


図6：断面プラン

### 2) 旅館

現在の旅館の圧迫感と景観と調和していない問題を解消するため、旅館南館は2階建てとし、外装も町屋風とする。旅館北館は階が上がるごとにセットバックしている。これによりオンシーズンには長良川鵜飼と花火を同時に楽しむことが出来る。



図7：現在の旅館と周辺



図8：旅館南館のファサード



図9：旅館北館のパース

### 3) 温泉

旅館の敷地内にある温泉は旅館の利用客だけでなく周辺に住む住人も利用できる。鵜飼や花火が行われる長良川の景観を活かすため、露天風呂を河川側に配置する。



図10：温泉のパース

### 4) 鵜飼観覧船受付所兼鮎料理店

川原町通りを広場方面まで進んだ地点に鵜飼受付所を配置し船着き場までの動線をわかりやすくする。構造は河原町の景観に合わせて木造とし、階段広場から圧迫感を出さないために平屋とする。鮎料理店は鵜飼の様子や広場の様子を見ながら楽しめるように北側に開口を設ける。

## 卒業論文概要

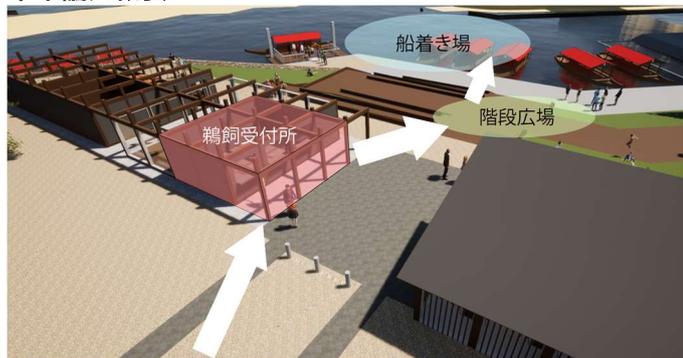


図 1 1 : 船着き場までの動線



図 1 2 : 鮎料理店から見た長良川

### 5) 伝統工芸体験施設

伝統工芸品である岐阜和傘や岐阜うちわづくりを体験できる施設や工芸品の販売を行い、観光客の集客を

図る。階段広場側には休憩のために利用できるスペースを設ける。



図 1 3 : 体験施設のパース

### 6) 船着き場・プロムナード

高級観覧船と身障者用の観覧船に関しては浮き栈橋を利用して乗り降りを行い、他の観覧船はプロムナード側の船揚げ場にて乗り降りする。

### 参考文献

- 1) 岐阜市ホームページ <https://www.city.gifu.lg.jp>
- 2) 長良川温泉 十八楼 <https://www.18rou.com>
- 3) ぎふ長良川の鵜飼 <https://www.ukai-gifucity.jp/ukai>



図 1 4 : 全体の鳥瞰パース